



2015年2月号

◆人気出前授業ランキング！ ベスト5！

平成26年度もあと1月あまりとなりました。今年度も多くの学校で「出前授業」をはじめとした「博物館学校地域連携教育支援事業」を御活用いただき、ありがとうございました。

今年度は、延べ231団体、10,306人※の皆さんに「出前授業」を御活用いただきましたが、その中から人気の講座ベスト5を紹介します。（※1月31日現在の集計、年度末までの予約を含む）

①葉脈標本づくり

25団体 1,513人

薬品処理済みのヒイラギモクセイの葉を簡単な処理で葉脈標本にします。

ラミネート加工をして、しおりとして持ち帰りますが、絵の具で色づけをしたり、押し花やスパンコールで飾り付けをしたりするなど自由な創作の場面が多く、子どもたちに人気の講座です。

作業が簡単なため、低学年を含む、児童クラブ等での実施が多いですが、中学生を対象にする際は、光合成の仕組みや、維管束のつくりについてもふれるなど、幅広い年齢層に対応できます。



②天体観察（夜）

24団体 1,451人

宿泊学習のプログラムの1つとして多くの学校に御活用いただきました。

主な活動は肉眼での星座の観察や天体望遠鏡等を使っでの惑星と月の観察、隕石の観察、惑星模型を使っでの太陽系の学習等です。

天候に左右されますが、観測ができたときの子どもたちの満足度は非常に高い出前授業です。実施人数や時期によって内容・方法が変わるので、事前の打合せが必要です。



③化石レプリカづくり

33団体 1,397人

地学分野の発展学習として御活用をいただくことが多かった出前授業です。

石こうを雌型に流し込み、レプリカを製作します。簡単な作業なので、低学年から行うことができます。石こうが固まるまでの待ち時間に、示準化石の標本を観察したり、アンモナイトや三葉虫の実物化石にふれたりするなど、体験活動を重視しています。

レプリカに着色したり、地層の学習について深めたりするなど、目的や時間に応じたプログラムを構成することが可能です。



④昆虫教室

23団体 1,260人

小学校低学年・中学年でたくさんの御活用をいただきました。

双眼実体顕微鏡で昆虫標本の観察をしたり、クイズ形式のプレゼンテーションで昆虫の体のつくりや生活について学んだりするなど、低学年の子どもでも楽しめる内容です。

標本など多くの資料を準備できますので、多人数での実施も可能な出前授業です。

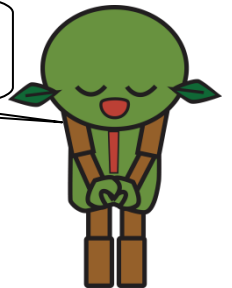
⑤埴輪づくり

21団体 1,074人

歴史の発展学習や学級PTA活動として御活用をいただくことが多かった出前授業です。

創意工夫を凝らしたオリジナルの作品を作ることができるので、子どもも保護者も楽しんで活動していただけます。この度、本格的な埴輪のレプリカを6体準備しました。今後さらに充実した講座になります。

たくさんの御活用
ありがとうございました。



6位以降は次のようになっています。

⑥ロボット教室 (17団体、606人)	⑨落款印づくり (12団体、385人)
⑦天体教室(昼) (18団体、613人)	⑩山口県の野生生物(8団体、339人)
⑧電磁石教室 (13団体、449人)	⑪化石クリーニング(9団体、296人)
	⑫勾玉づくり (9団体、289人)

◆ 行事予定 (詳細・申込みは博物館ホームページへどうぞ)

「化石レプリカ作り」

日時：3月1日(日) 13:30~15:30

場所：山口博物館別館

対象：一般(定員20名) **【要申込】**

「ミュージアムトークⅡ」

日時：3月15日(日) 13:30~14:50

場所：山口博物館別館

対象：一般(定員40名) **【要申込】**

「里山の動物観察会」

日時：3月21日(土) 9:30~12:00

場所：山口博物館別館と近郊の里山

対象：一般(定員15名) **【要申込】**

「サイエンストーク」

日時：3月22日(日) 13:30~15:00

場所：山口博物館別館

対象：一般(定員20名) **【要申込】**

山口県立山口博物館は、本館展示室から検出されたアスベストに必要な措置を施すまでの期間、臨時休館しています。なお、別館での講座や野外での観察会、出前授業等は実施していますので、是非ご活用ください。

■お問い合わせ■

詳しくは山口博物館のホームページ
(For School)を御覧ください。

<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



山口県立山口博物館

〒753-0073

山口市春日町 8-2

TEL 083-922-0294

FAX 083-922-0353